

# 中央会やまぐち



特集

- ①中央会第68回通常総会を開催
- ②「人材確保における取組状況調査」結果について

Close Up組合 ..... 映像制作エーカッコーシ協同組合  
中央会TOPICS  
組合TOPICS  
景況動向

7

2023  
JUL  
Vol.783





代表理事  
綿谷孝司 氏

# Close Up 組合

クローズアップ

## 映像制作エーカッコシー協同組合

〒742-0023 柳井市南浜一丁目3番18号

TEL 080-4659-8663

URL <https://noukan-switch.com/>

代表理事 綿谷 孝司



## 動画制作で地域を再定義する。

### 任意団体として活動

近年、映像制作・ライブ配信等の需要が高まるとともに、これらに携わる事業者も増加しています。しかしながら技術力不足・経験不足などにより、安価な受注を強いられる現状があります。

我々は、任意団体「エーカッコシー」として映像制作に関わる事業者（広告、撮影、エンジニア、ディレクター、プロデューサーなど）でチームを組んで活動し、アウトドア関連の動画撮影等に携わってきました。チームを組むことで動画制作に携わる全てのサービスをワンストップで提供できる体制が構築でき、仕事の融通も行ってきました。

この任意での活動をさらに本格化させ、信用力を付けるため、2022年4月に事業協同組合を設立しました。チーム名の由来は気取り屋、ええ恰好しい“A(C)”という意味です。あまり良いイメージを持たない言葉ですが、家族や従業員、社会からリスペクトされる人はみんな格好良いものです。

結果をお示しできるその日まで、私たちはA(C)の気取り屋で居たいと考え、チーム名をそのまま組合名称としました。



組合設立総会の様子

### 事業協同組合での活動

当組合を設立して1年余りですが、企業のプロモーション動画の製作、セミナーやアウトドア系イベント等のLive配信、中央会主催の動画制作講座の講師等の依頼を頂きました。

さらに今年度からは新たな組合員として岩国市を拠点とするシン・フィールド合同会社（滝川善信代表）も加わり、活動の幅が広がっています。

### 製作実績動画



視聴はこちらから

【なぜ事業協同組合をつくったの?】事業者同士の連携に最適な協同組合の魅力について、設立者に聞いてみた。(山口県中央会Youtubeチャンネル)

### 今後の展望

動画クリエイターのプラットフォームを目指して、自治体公募案件の受注を目指すとともに、クリエイターの情報交換の場、資質向上を図る教育事業を積極的に実施し、映像業界の健全な振興発展に貢献したいと考えています。

山口県のヒト、地域、サービスの魅力を動画制作を通して丁寧に紡ぎ、日本のみならず世界に向けて発信して参ります。

# 中央会第68回通常総会を開催 ～中小企業が直面する様々な課題に対峙し、 「元気で頼りになる中央会」を目指して～

6月20日、山口市湯田温泉「かめ福オンプレイス」において、中央会第68回通常総会を開催しました。

当日は、委任状を含め会員303名が出席しました。また、来賓として村岡嗣政山口県知事、猶野克山口県議会産業観光委員長ほか県内経済・金融団体等の代表者等15名をお招きし、村岡山口県知事様及び柳居俊学山口県議会議長様（代読：猶野山口県議会産業観光委員長）よりご祝辞を頂戴しました。

引き続き、議案審議があり、令和4年度決算関係書類及び令和5年度事業計画・収支予算案等が承認されるとともに、辞任に伴う役員選挙が行われ、会長に、矢敷健治氏（山口県火災共済協同組合理事長）が選任されました。



開会にあたり、和田会長より、「中小企業においては事業所の廃業や後継者・人材不足などの課題を抱え、また長引く感染症の影響、原材料・エネルギー価格の高騰等が追い打ちをかけるなど、かつてない緊迫感を伴うものがありました。加えて働き方改革、デジタル化、脱炭素化など、将来に向け

新たな対応も迫られており、県内中小企業にとっては大変厳しいものとなっております。こうした中、中央会としては、国、県をはじめ関係機関に対し要望活動を行うとともに、組合及び組合員の皆様には、様々な支援策の情報提供及び指導・助言等をさせていただきました。

組合そして組合員企業の皆様が様々な課題を乗り越えていくために、少しでもお役に立てるよう、これまで以上に支援を強化するとともに、今年度が仕上げの年となる中期行動計画『中央会アクションプラン2021』に掲げる目標の実現を、役職員が一丸となって着実に進めてまいりたいと考えておりますので、今後とも皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。」との挨拶がありました。



会長挨拶（和田会長）

続いて、村岡山口県知事様より、「コロナ禍で県政を取り巻く環境が急速に変化する中、私は、昨年末に新たな県政運営の指針となる『やまぐち未来維新プラン』を策定しました。とりわけ『産業維新』におきましては、事業活動の脱炭素化に向けた支援機能の強化をはじめ、デジタル技術の活用、産業人材の育成・確保に向けたリスティングや県外キャリア人材の確保、円滑な事業承継など、事業者の皆様を取組をしっかりと支援してまいります。こうした取組を着実に進めていくためには、中小企業団体中央会の皆様をはじめ、関係団体や企業の皆様方との連携・協働が、今までにも増して大変重要です。県内唯一の中小企業連携組織支援機関として、その熱心な御活動に対し、改めて深く敬意を表しますとともに、引き続きお力添えをいただくとともに、これからの県づくりへの一層の御支援、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。」のご祝辞をいただきました。

また、柳居山口県議会議長様（代理：猶野山口県議会産業観光委員長）より、「貴会におかれましては、物価高騰や後継者不足、デジタル化や脱炭素化等の中小企業・小規模事業者が直面する様々な課題に対応するため、経営強靱化や企業間連携の活性化など、『中央会アクションプラン2021』に基づく戦略的な取組を着実に推進・展開されており、

引き続き、議案審議があり、令和4年度決算関係書類及び令和5年度事業計画・収支予算案等が承認されるとともに、辞任に伴う役員選挙が行われ、会長に、矢敷健治氏（山口県火災共済協同組合理事長）が選任されました。」との挨拶がありました。



村岡山口県知事



猶野山口県議会  
産業観光委員長

誠に心強く感じているところです。県議会といたしましても、地域経済を支える中小企業・小規模事業者の持続的な発展に向けた育成・成長支援対策に全力で取り組む所存です。皆様方には、本日の総会を機に、会員相互や関係機関との連携をゆるぎないものとされ、地域経済の活性化と県勢の振興・発展に、この上ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。」とのご祝辞をいただきました。

引き続き、議長に、中央会副会長であり防府流通センター協同組合理事長の喜多村誠氏を選任し、議事に移り、令和4年度の決算の承認（久保浩通監事より監査報告）、令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）の決定など上程された5議案が審議の結果、原案どおり承認さ

れました。

また、辞任に伴う役員選挙（指名推選）が行われ、会長に、矢敷健治氏（山口県火災共済協同組合理事長）が選任されました。

その後、和田会長から退任にあたっての挨拶、矢敷会長から就任にあたっての挨拶があり、閉会しました。



議長（喜多村副会長）



## 和田会長退任挨拶

このたび、任期途中ではありますが、当中央会の会長を山口県火災共済協同組合理事長の任期満了に併せて退任させていただくことになりました。



振り返りますと、平成27年6月に会長に選任いただきまして、以来、8年間務めさせていただきました。

就任当時の我が国経済は、アベノミクスの下、企業収益や雇用情勢が改善し、緩やかな回復基調が続いておりましたが、8年間の後半は、コロナ感染症、国際情勢の急激な変化など、かつてない緊迫感を伴うものがありました。

中小企業においても、働き方改革、デジタル化、脱炭素などの新たな社会の変革への対応も求められる大変厳しい時期でありましたが、皆様のご協力と、職員の頑張りにより、様々な情報提供など、お手伝いできたものと考えております。

これもひとえに、会員組合等の皆様のご理解、ご協力の賜物であり、皆様に心からお礼を申し上げます。

今後は、新会長の下に役職員一同、「アクションプラン」に掲げる目標を着実に進め、「元気で頼りになる中央会」を目指して、頑張っていたいただきたいと思います。

## 矢敷会長就任挨拶

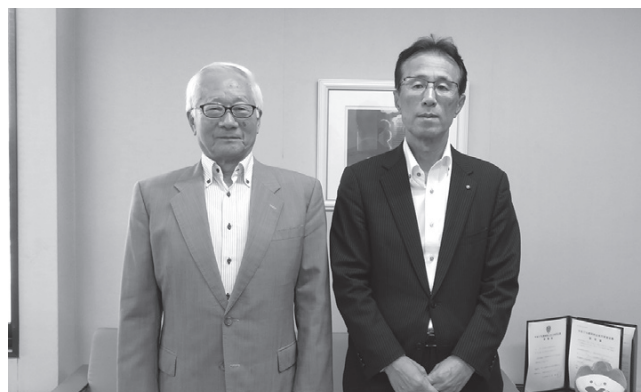
皆様のご推挙によりまして、新会長に選任をいただきました矢敷健治と申します。



3年余り続きましたコロナ禍への対応も新たな段階に入りましたが、中小企業の方々の対応は、慢性的な人手不足や原材料・エネルギー価格の高騰など、大変厳しい経済環境が続いているものと考えております。

このような中、微力ではございますが、山口県中小企業団体中央会が今後も皆様のお役に立てるよう、役職員一同一丸となりまして、精いっぱい努力をしてみたいと思っております。

今後とも、中央会の各種事業の推進に引き続き、ご支援、ご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。



中央会役員室にて

# 特集2 「人材確保における取組状況調査」結果について

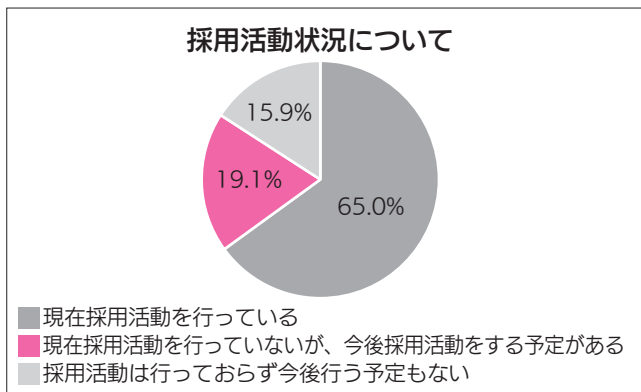
## 山口県中小企業団体中央会

山口県中小企業団体中央会では、人材確保に課題を持つ組合及び組合員企業を支援するため、人材確保における取組状況について調査を行いましたので、その結果についてお知らせします。

調査対象事業所：本会会員組合の組合員企業  
1,500事業所  
有効回答数：460事業所 回答率：30.7%

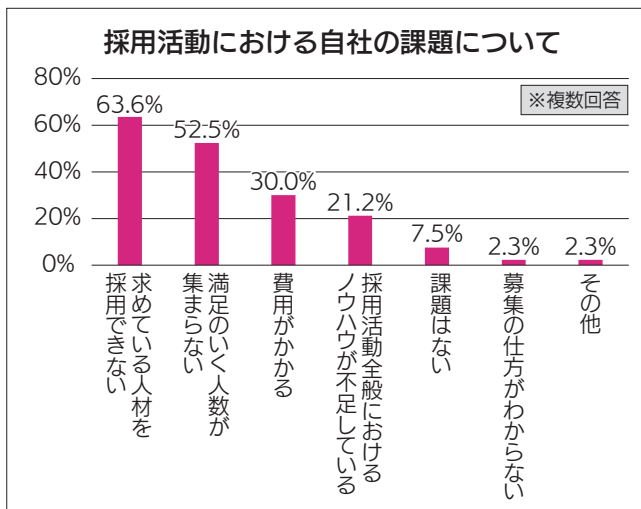
### 1 採用活動状況について

「現在採用活動を行っている」と回答した事業所は65.0%であり、「現在採用活動は行っていないが、今後採用活動をする予定がある」と回答した事業所を合わせると、全体の84.1%が採用活動に関わっている。



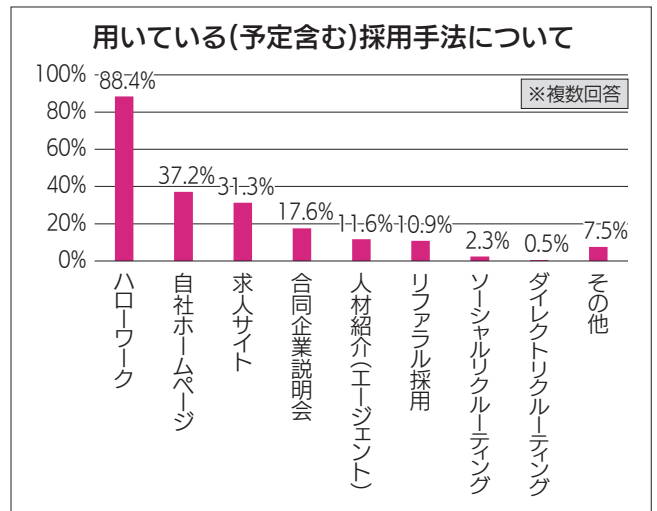
### 2 採用活動における自社の課題 (複数回答可)

「求めている人材を採用できない」と回答した事業所が最も多く63.6%、「満足のいく人数が集まらない」52.5%、「費用がかかる」30.0%となっている。



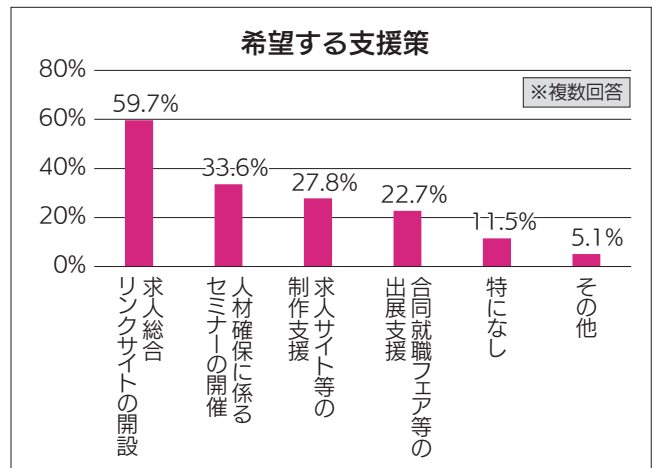
### 3 用いている採用手法 (複数回答可)

採用活動を行っている、または、今後行う予定があると回答した事業所の内、用いている採用手法に「ハローワーク」と回答した事業所は88.4%であり、次いで「自社ホームページ」37.2%、「求人サイト」31.3%となっている。



### 4 山口県中央会の支援施策について

山口県中小企業団体中央会へ希望する支援施策としては、「求人総合リンクサイトの開設」が最も多く59.7%、次いで「人材確保に係るセミナーの開催」33.6%、「求人サイト等の制作支援」27.8%となっている。



本会では調査結果を踏まえ、「人材確保推進セミナー」を令和5年8月2日(水)にハイブリッド形式で開催いたします。ハローワーク求人票作成の仕方、HP作成におけるポイント等が学べる内容となっております。申込み、セミナーの詳細等は本会HPをご確認ください。



本会HP

## 県内就職の推進等に関する要請書を受領

山口県中小企業団体中央会

5月29日(火)、名田裕山口労働局長、繁吉健志山口県教育委員会教育長、小関浩幸山口県産業労働部長が来会され、県内就職の推進等に関する要請がなされました。

コロナ禍や急激な物価高騰などにより傷んだ地域経済を再生するためには県内産業を担う人材の確保が大きな課題とし、「新卒予定者等の県内就職・定着の促進」「成長の原動力となる人材の育成・確保」「多様な人材の活躍促進」について協力を求められました。

また、本会からは県内中小企業の人材不足が深刻化する中、国や県による人材確保への更なる支援を要望しました。

要請の詳しい内容につきましては本会HPをご覧ください。

<https://axis.or.jp/info/18050.html>

(総務企画部 宇多村)



HPIはこちら



中央会 和田会長 山口労働局 名田労働局長

## 令和5年度通常総会及び研修会を開催

山口県中小企業団体中央会女性活躍推進協議会

6月1日(木)、山口市「かめ福オンプレイス」にて令和5年度通常総会及び研修会を開催し、令和4年度決算関係書類及び令和5年度事業計画・収支予算が可決承認されました。

その後、Pale lilac 代表 田村絵里子氏を講師にお招きし、『「無難」よりも『らしく』装う外見ブランディング術』をテーマに研修会を開催しました。

長所を生かす服装をすることで自分らしく装ったり、また理想の服装をすることでなりたい自分に近づいたりなど、服装は自分の印象をコントロールすることにつながり、周囲にも影響を与えることを学びました。また、参加者が各自で持参したスカーフを使いながら、スカーフの様々な巻き方・アレンジ方法についても学びました。



Pale lilac 代表  
田村絵里子氏

りなど、服装は自分の印象をコントロールすることにつながり、周囲にも影響を与えることを学びました。また、参加者が各自で持参したスカーフを使いながら、スカーフの様々な巻き方・アレンジ方法についても学びました。

(総務企画部 宇多村)

## 通常総会及び研修会を開催

山口県中小企業団体中央会青年部

6月23日(金)、下関市の割烹旅館寿美礼にて通常総会を開催し、令和4年度事業報告・決算並びに令和5年度事業計画・収支予算が可決決定されました。

その後行われた研修会では、当会場の代表を務められており、組合設立に向けて活動する中央会連携推進員の和田健資氏を講師に招き、「組合を有効活用して経営力アップ!～組合の上手な活用の仕方～」をテーマに講演をいただきました。組織をつくることにより、行政や議員への意見が通りやすくなった自身の経験をお話し頂き、組合を有効活用する方法を学ぶことができました。受講者からは「組合について、より理解を深めることができた」などの声がありました。

(連携支援部 岡村)



## ものづくり補助金及び事業再構築補助金活用セミナーを開催

山口県中央会ものづくり振興倶楽部

本会では、6月22日(木)、山口市「山口グランドホテル」にて、「生産性向上のためのものづくり補助金及び事業再構築補助金活用セミナー」を開催し、講師の中小企業診断士 佐伯昌之氏より、「ものづくり補助金」及び「事業再構築補助金」について、採択されやすい申請書作成のポイントを説明いただきました。

申請書作成においては、それぞれの補助金のコンセプトと自社の課題解決がマッチしていることをわかりやすく申請書へ盛り込むことが採択されるポイントです。

ものづくり補助金については、現在15次締切分の公募が行われております。公募要領等をご確認いただき、申請をご検討ください。  
(総務企画部 田中)



ものづくり補助金



事業再構築補助金



## 組合TOPICS

## やまぐち建設産業魅力発見フェアに出展

山口県鉄筋工業協同組合  
山口県管工事工業協同組合

6月6日(火)、山口きらら博記念公園(やまぐち富士商ドーム、スポーツ広場)にて開催された「やまぐち建設産業魅力発見フェア」(主催 山口県)に山口県鉄筋工業協同組合、山口県管工事工業協同組合の2組合が出展しました。本フェアは、建設産業の担い手確保対策の一環として、技術・技能体験や県内企業紹介等を通して建設産業の仕事の魅力を伝えることにより、若者の県内建設産業への入職促進を図ることを目的としたものです。



ビニール管加工体験  
(山口県管工事工業協同組合)



企業紹介ブース  
(山口県鉄筋工業協同組合 宮本工業株式会社)

鉄筋組立やビニール管の加工等を技能者に教わりながら実際に体験したり、業界や仕事内容について企業担当者と話し交流を行ったりするなど、県内の高校生らが建設産業への理解と関心を深めました。

(連携支援部 前田)

## 働き方改革についての講習会を開催

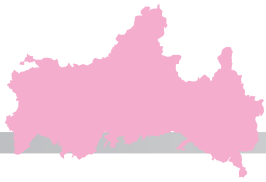
レストレーション協同組合

5月25日(木)、周南市「ホテルサンルート徳山」で、中央会の制度改正等の課題解決環境整備事業を活用し、働き方改革についての講習会を開催しました。

清木法律事務所の清木敬祐弁護士から「働き方改革について」をテーマに、時間外労働の上限規制の導入、年次有給休暇の確実な取得、正社員と非正社員の間での不合理な待遇差の禁止など、働き方改革に関する労働基準法改正の内容などについて学びました。

(連携支援部 水野)





# 月次景況調査結果

令和5年5月期

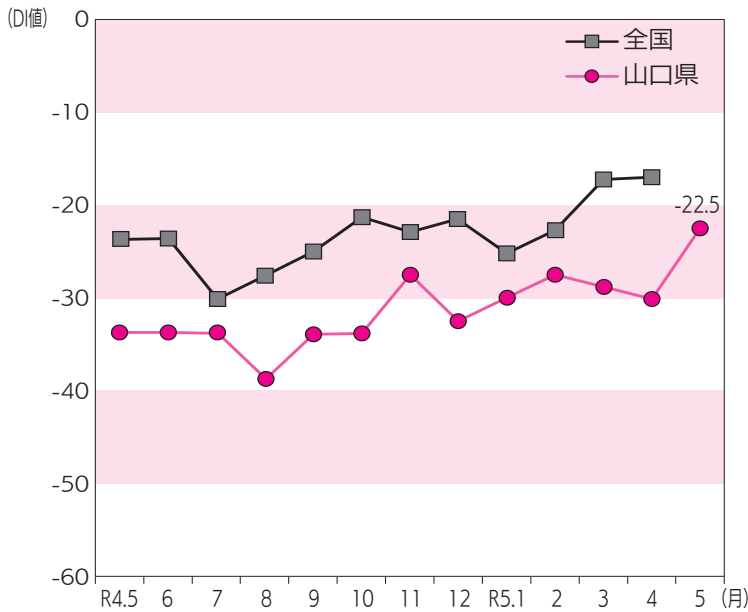
新型コロナウイルスの5類への移行に伴い、通常の営業に戻りつつあることから、卸・小売業やサービス業、運輸業等の非製造業を中心に売上が増加し、全体の景況DI値は横這いから上昇に転じた。

一方で、多くの業種において原材料費や電力料金等のコスト増に見合う価格転嫁が十分に行えておらず、加えて人手不足の問題や人件費の上昇が経営を圧迫している。

今後も原材料費や電気料金の高騰は続くと思われ、さらには、物価高が買い控えを招くと危惧する声もあるなど、先行きは依然不透明な状況が続いている。

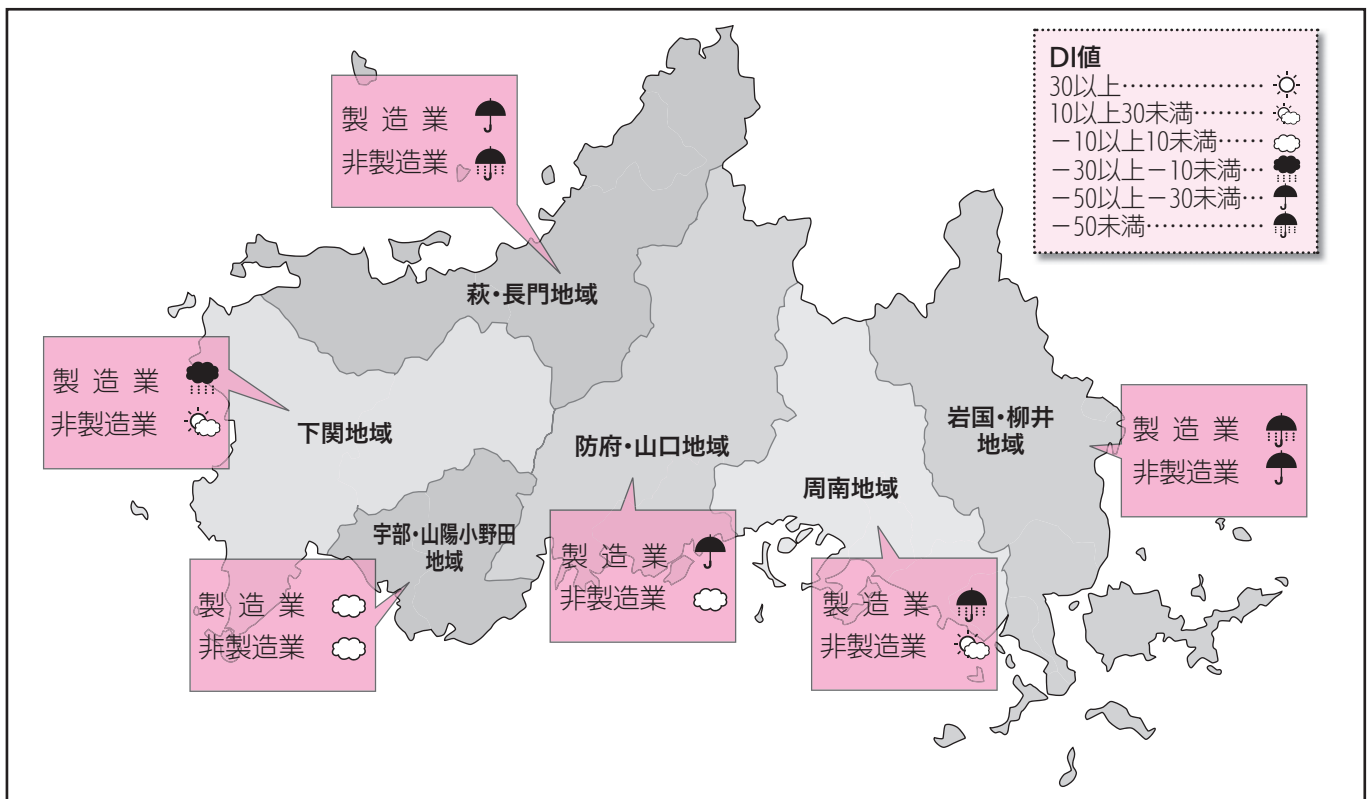
※DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 減少・悪化組合割合

## 業界の景況DI値の推移 - 全国平均との比較 -



## 業種別の景況

	業種	前年同月比	前月比
製造業	食料品	☁️	→
	繊維工業	☔️	→
	木材・木製品	☔️	→
	印刷	☔️	→
	窯業・土石製品	☔️	→
	一般機器	☔️	→
非製造業	輸送機器	☔️	→
	卸売業	☔️	→
	小売業	☔️	↗️
	商店街	☔️	↘️
	サービス業	☁️	↗️
	建設業	☔️	→
	運輸業	☀️	↗️
その他	☁️	→	





地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<https://axis.or.jp/>) の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食 料 品	☁️	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ゴールデンウィークはコロナ前の8割に持ち直し。(パン・菓子製造業 山陽小野田市)</li> <li>○ 6月から原材料の値上げの通知があり、収益を圧迫する見込みである。雇用情勢が厳しく応募がない状態が続いている。(パン・菓子製造業 下関市)</li> <li>○ 日本人の食文化が魚より肉へと変化。水揚の減少で原価価格が上昇している。漁業関係者の人手不足は深刻で、夢の無い将来では後継者問題も深刻になる。(水産食料品製造業)</li> </ul>
	織 維 工 業	☔️	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 原材料費は値上がりしているが、現在の状況は横這いである。(外衣・シャツ製造業)</li> </ul>
	木 材 ・ 木 製 品	☔️	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 組合員平均売上額は、コロナ禍の令和4年5月と比べ10%減少。スギ・ヒノキ原木価格は下落傾向、特にスギは顕著。収益も上がらず、依然として景気回復は感じられない。</li> </ul>
	印 刷	☔️	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 印刷業界は変わらず、紙、インキ、印刷版等の原材料の高騰が続いており、特に紙類は立て続けに値上げが実施され、収益の圧迫要因となっている。以前に比べれば、価格転嫁も受け入れられているが、まだまだ充分ではなく、粘り強い交渉が必要である。</li> </ul>
	窯 業 ・ 土 石 製 品	☔️	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県の公表価格の見直しがあり、設計値をアップすることが出来た。他でも見直しの陳情活動を続けており、本年度も苦しい状況である。(コンクリート製品製造業 柳井市)</li> <li>○ 電気代・セメントの値上げが原価高騰に影響し、1月に値上げした時点の状況と変わっており、再度価格の見直しの検討が必要となった。(コンクリート製品製造業 防府市)</li> <li>○ 燃料費・材料費の高騰を考慮し10%程度値上げをすとの声が聞かれた。6月からの電気代値上げで収益が圧迫されることを懸念している。(陶磁器・同関連製品製造業)</li> </ul>
	一 般 機 器	☁️	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 受注単価は若干上がったが経費も上昇しており、利益に増減は見られない。(下松市)</li> <li>○ 人手不足により納期が後ろにずれていく。人員縮小で高付加価値の装置案件を受注できず、顧客ニーズに応えられない。早期に採用を強化し人員を確保することが望まれるが、募集経費、人件費等の増加が資金繰りに影響するため踏み切れない。(防府市)</li> </ul>
輸 送 機 器	☔️	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鉄道車両関係の現状は海外からの受注で順調だが、令和6年度後半から受注量減少の見通し。半導体製造装置の部品製造業は、予定よりも大幅に受注量が減少し、1~2年は厳しいとの意見もある。原材料費、水道光熱費の高騰で収益悪化が続く見通し。(下松市)</li> </ul>	
非 製 造 業	卸 売 業	☔️	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運賃・箱代他経費が高騰しているが、十分な価格転嫁ができていない為、収益が悪化している。(生鮮・魚介卸売業)</li> </ul>
	小 売 業	☁️	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コロナが収束傾向で、前年より客足・売上が少しずつ上がっている。(化粧品小売業)</li> <li>○ 住宅メーカーが低価格住宅を建築し続けているので仕事量はある。(機械器具小売業)</li> <li>○ 新型コロナウイルスは5類へ移行されたが、全国旅行支援事業等の後押しがなくなり、観光需要が伸びなかった。度重なる原材料・電気料等のコスト増に見合う価格転嫁、売上確保が十分に行えず、収益は悪化傾向にある。(各種商品小売業)</li> </ul>
	商 店 街	☔️	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 売値上げは、買い控えに繋がるだけでなく、購買行動そのものを控える傾向を強め、街の人通りも減少傾向。この傾向が続くと思われ、戦略を立てる必要がある。(岩国市)</li> <li>○ 依然として商店街の人通りが少ない。仕入価格の上昇により販売価格の値上げを余儀なくされ、それに伴い買い控えが起きる悪循環に陥っている。(下関市)</li> </ul>
	サ ー ビ ス 業	☁️	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症が5類に移行され従来の営業に戻ってきた。売上はコロナ前と変わらないが、物価上昇の影響で収益は悪化している。(美容業)</li> <li>○ 令和6年10月からOBD検査(車載式故障診断装置による検査)がスタートするが、対応出来ない整備事業者が廃業に追い込まれることが予想される。(自動車整備業)</li> <li>○ 全国旅行支援が4/17で終了し、大きく減少するのではと危惧していたが、前年同月比で売上126.9%、宿泊人員130.2%と大幅に増加。宴会需要は未回復。(旅館業)</li> </ul>
	建 設 業	☁️	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ R3年に比べると見積単価・契約単価が約1割上昇している。建材の高騰(平均20%)と給与の上昇(2~3%)が要因と推測される。(左官工事業)</li> <li>○ 公共事業への依存度の高い当組合員は、受注の低迷と利益率の低下に加えて、DXの推進、工事施工の合理化、人材確保に奔走する必要に迫られている。(一般土木工事業)</li> <li>○ 工場稼働率は維持しているものの、小規模工事、改修や補強等の現場鉄工、他社応援が多い状況で、中型、大型の案件が少ない。(鉄骨・鉄筋工事業)</li> </ul>
	運 輸 業	☀️	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自動車関連の組合輸送取扱高は前年同月比50%のプラス。コロナ前の水準には依然として遠く及ばない状況であるが、徐々に上向きつつある。(一般貨物自動車運送業)</li> <li>○ 行動規制が緩くなり需要が回復傾向にあるが、コロナ前(平成30年度)の需要の▲36%付近であり、まだまだ厳しい経営状況の模様。(一般乗用旅客自動車運送業)</li> </ul>
そ の 他	☁️	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルスの影響で外国人技能実習生の送り出しをストップしていた国でも7月から再開となる予定。介護業界の人員不足は変わらず、募集もハローワークや情報誌に掲載しているが、依然として人材確保が難しい状況。(介護事業)</li> </ul>	

組合運営上における注意点等をQ & A方式でお伝えします。

## 脱退者持分の払戻について



通常総会の終了後、脱退する組合員への持分の払戻はどのように行えばよいでしょうか。



脱退した組合員の持分は、その脱退した事業年度の終わりにおける組合財産によって算定されます。組合財産の額は、通常総会における決算承認によってはじめて確定することとなるため、**持分払戻請求権の履行及び持分の払戻は通常総会后**となります。

持分の払戻額やその算定方法は、組合の定款で規定されており、ここでは、多くの組合で規定されている出資額限度による持分の払戻について取り上げます。

### 【持分の払戻額の定款例】

(脱退者の持分の払戻し)

第〇条 組合員が脱退したときは、組合員の本組合に対する出資額（本組合の財産が出資の総額より減少したときは、当該出資額から当該減少額を各組合員の出資額に応じて減額した額）を限度として持分を払い戻すものとする。ただし、除名による場合は、その半額とする。

この定款例では、脱退者の持分について各組合員の払込出資額を限度として払い戻すことを規定しております。出資額限度による場合、**持分額が出資金額より多いときは出資金額の払戻を行い、出資金額より少ないときは、その持分額を払い戻します。**

【脱退者持分払戻計算書】脱退者の持分は下記の脱退者持分払戻計算書により算定します。

### 【記載例】

脱退者持分払戻計算書（税抜経理方式）		
令和〇年〇月〇〇日		
I 払戻持分の対象になる金額		
1 貸借対照表の出 資 金 の 部 分	A	〇〇〇〇〇
"    の資本剰余金の部分	B	〇〇〇〇
"    の利益準備金の部分	C	〇〇〇
"    の組合積立金の部分（教育情報費用繰越金を含む）	D	〇〇〇
"    の当期末処分剰余金	E	〇〇〇
2 剰余金処分による流出（出資・利用分量配当等）	F	△ 〇〇〇〇
3 未払持分に振り替えた脱退者の出資金	G	〇〇〇
4 土地評価益	H	〇〇〇〇〇
5 土地評価益に対する繰延税金負債	I	△ 〇〇〇〇
払戻持分対象金額合計	J	〇〇〇〇〇
II 払戻持分1口の金額		
1 対象出資口数（期末出資口数〇〇口+脱退者出資口数〇口）	K	〇口
2 1口の金額（払戻持分対象金額合計÷対象出資口数）J÷K	L	〇〇〇
III 払戻持分1口の金額（L）の内訳		
1 出 資 金 の 部 分	(A + G) ÷ K	〇〇〇
2 資本剰余金の部分	B ÷ K	〇
3 利益剰余金の部分	(C + D + E - F + H - I) ÷ K	〇〇
4 みなし配当源泉税（利益剰余金の部分×20.42%）		△ 〇〇
1口あたりの払戻額計		〇〇〇
IV 脱退者持分払戻額	L × 脱退者出資口数	〇〇〇

脱退者持分払戻計算書の様式は本会HPに掲載しております。

詳しい説明を希望される方は、お気軽に担当指導員にお尋ねください。



様式集はこちら  
<https://axis.or.jp/dl>

# 中小企業組合士制度・ 中小企業組合検定試験のご案内

## 「中小企業組合士」とは？

中小企業組合の事務局で働いている役職員の方が職務を遂行する上で必要な知識に関する試験を行い、試験合格者の中から一定の実務経験を持つ方に、中小企業組合士の称号を与える制度です。全国で約3,000名（山口県51名）の方が、中小企業組合士として活躍されています。

### 中小企業組合士は組合運営のエキスパート！

組合の業務を執行する役員、実務を担う事務局職員等組合に携わる方すべてに挑戦していただきたい資格です！

## 中小企業組合士になるとどんないいことがある？

- 組合運営における事務処理ができるようになる！
- 組合特有の会計処理・決算処理ができるようになる！
- 組合運営における法改正等の情報を取得できる！

山口県中小企業  
組合士会へ  
ご入会もお待ちして  
おります。



さらに山口県中小企業組合士会へ入会すると、県内外の様々な研修会や視察への参加、福利厚生事業や全国・中国ブロックの組合士会研修を通じた県内外の組合士との交流・情報交換ができます。

## 令和5年度中小企業組合検定試験の概要

### 【試験科目】 組合会計、組合制度、組合運営

※試験科目の全てに合格し、かつ中小企業組合等で3年以上の実務経験で認定されます。  
(一部の科目について合格した場合は、その後3年間はその科目の受験が免除されます。)

### 【試験日】 令和5年12月3日(日)

### 【受験料】 3科目受験 6,600円 2科目受験 5,500円 1科目受験4,400円

### 【願書受付期間】 令和5年9月初旬～10月中旬(予定)

※本会では、検定試験対策として組合教室を9月頃開催予定です。

※中小企業組合士制度・中小企業組合検定試験についての詳細は、本会HPをご確認ください。



HPIはこちら

## 中央会会員組合限定！検定試験受験料相当額・組合士認定料の一部を助成します！ (令和5年度初めて受験する方より)

今年度より、組合事務局体制の強化支援事業の一環として検定試験合格者及び組合士・組合士所属組合に対し、受験料や認定料の助成、奨励金の支給を行います。この機会に是非、検定試験受験をご検討ください！

### 【対象】 検定試験合格者（中央会会員組合の所属者に限る）、組合士が所属する中央会会員組合

### 【支援内容】 ①検定試験合格者への受験料相当額の助成

検定試験を受験し3科目合格した個人に対し、**初回受験料相当額(6,600円)を助成！**

### ②組合士認定料の助成

毎年6月の組合士認定に際し、**組合士認定料(14,000円)の半額を個人又は組合に対し助成！**

### ③組合士認定所属組合への奨励金の支給

新しく組合士に認定された方が所属する組合に対し、**奨励金として12,000円を支給！**

### 【実施時期】 ① 令和5年度より実施 ②、③ 令和6年6月認定分より実施

検定試験受験にあたっては、過去問題の解説・参考図書を紹介等、本会指導員がサポートを行います。  
組合役職員の皆様のチャレンジをお待ちしております！

【お問い合わせ】 山口県中小企業団体中央会 連携支援部（担当：岡村） ☎ 083-922-2606



## 素麺積み込み作業ロボットの 導入による労働環境の改善

「日本全国組合紀行」では、全国の様々な組合の取組について紹介します。  
今回は、作業ロボットの導入により労働環境を改善した長崎県の「長崎県有家手延素麺協同組合」の取組を紹介します。

### 長崎県有家手延素麺協同組合

長崎県南島原市有家町山川391番地3  
理事長 中村 政男

#### 〈設立年月日〉

昭和47年4月7日

#### 〈組合員数〉

29人

#### 〈組合員業種〉

手延素麺製造業



長崎県有家手延素麺協同組合HP  
<https://www.nagasakiarief.jp/>

#### 〈背景・目的〉

南島原市は日本の手延素麺の約30%を製造する日本有数の素麺の産地である。当組合は素麺製造業者を組合員として昭和47年に設立された。組合ブランドの素麺を開発し、徹底した品質管理に取り組み、素麺の出荷量は増加してきたが、それに伴い組合の従業員の出荷作業の負担も増加している。また、南島原市の少子高齢化は深刻で、人手の確保は難しく、組合の従業員の高齢化が進む中で、作業負担の軽減が課題であった。

#### 〈取組内容と成果〉

素麺の袋詰め後の運搬積載作業は、約10キロの重さの箱を人力で積み上げる重労働である。この作業に平均年齢50代の女性の従業員が従事しており、身体的に大きな負担となっていた。組合ブランドの素麺の需要は近年増加傾向にあり、運搬積載作業の効率化が必須の状況となった。そこで事務局長が中心となってロボット導入による運搬積載の自動化に取り組み、労働環境の改善を試みた。

取組みにおいては資金面が最大の課題であったが、「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」を活用し、組合の負担を抑えて、設備の導入を図ることができた。設備導入前は繁忙期には10キロの箱を1日に600個運搬していたが、ロボットで自動化することができ、大幅な生産性向上が実現できた。

今回のロボット導入により従業員の作業の負担を軽減し、働きやすい職場環境を整備できたことで雇用の継続につながっている。今後従業員の処遇改善も予定しており、作業負担の軽減と併せて働きやすい環境を整備し、雇用の維持と新たな人材の雇用に取り組んでいく。



## 第75回 中小企業団体全国大会のご案内

日時 令和5年10月11日(水) 14:00~16:30

場所 仙台国際センター展示棟 (宮城県仙台市青葉区青葉山無番地)

参加料 1人 6,000円

主催 全国中小企業団体中央会 宮城県中小企業団体中央会

お問い合わせ先 山口県中小企業団体中央会 総務企画部

☎ 083-922-2606 (担当: 田中・山本)

皆様のご参加をお待ちしております。



発行 山口県中小企業団体中央会 〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号 山口県商工会館6階

☎ 083-922-2606 Fax 083-925-1860 HP <https://axis.or.jp/>

印刷製本 株式会社 桜プリント社

